

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ハーバー研究所

コード番号 4925 URL <http://www.haba.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小柳 昌之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務・経理部担当ディレクター (氏名) 古俣 徳康

TEL 03-5219-5660

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	8,773	6.9	92	△77.9	62	△84.8	△231	—
22年3月期第3四半期	8,210	0.9	418	△18.7	408	△17.9	△29	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△58.83	—
22年3月期第3四半期	△7.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
23年3月期第3四半期	12,633	12,633	5,031	5,031	39.7	1,273.46
22年3月期	12,354	12,354	5,351	5,351	43.1	1,352.52

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 5,009百万円 22年3月期 5,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	20.00	20.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	11.3	1,330	47.8	1,300	47.8	650	143.9	165.23

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	3,935,000株	22年3月期	3,935,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	1,169株	22年3月期	1,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	3,933,875株	22年3月期3Q	3,934,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(第3四半期連結累計期間) .....	7
(第3四半期連結会計期間) .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の当社グループ連結売上高は、8,773,353千円（前年同期比106.9%）となりました。

本年度は、顧客購入単価の低下傾向は続いているものの購入件数は増加し、新商品「リフトアップセラム」の販売が好調であること、「マイクロフォースクレンジング」の新発売により、通販の売上が増加しました。

品目別売上高では、基礎化粧品は5,707,107千円（前年同期比111.4%）、メイクアップ化粧品は限定品の販売減少により950,483千円（前年同期比88.8%）、トイレタリーは新商品等が好調で432,626千円（前年同期比119.1%）、栄養補助食品・雑貨等は1,419,701千円（前年同期比100.8%）となっております。

販売ルート別では、主力の通販で既存客の購入件数が増加して6,167,569千円（前年同期比106.0%）、百貨店は977,137千円（前年同期比103.9%）、その他卸売りは中国・香港向け輸出が引続き好調で、子会社の信州製菓株式会社による「もち肌泡石けん」の売上も加わり878,253千円（前年同期比134.6%）と大幅に増加しました。直営店は、一部店舗閉鎖の影響により644,182千円（前年同期比94.9%）と減少しております。

売上原価は、1,614,997千円（前年同期比100.5%）と微増しましたが、基礎化粧品の売上増加により売上原価率は18.4%と前年同期比1.2%低下しました。

販売費及び一般管理費は、「リフトアップセラム無料モニターキャンペーン」を中心に積極的な新規顧客獲得戦略を推進し、広告販促費が2,848,823千円（前年同期比144.6%）と大幅に増加、その他経費は4,216,971千円（前年同期比100.0%）と横這い、合計で7,065,794千円（前年同期比114.2%）と増加しております。

この結果、営業利益は92,561千円、経常利益は62,182千円となりました。会計基準変更に対応した資産除去債務と平成23年5月に予定している本社移転等に係る臨時償却費等により79,065千円、店舗閉鎖及び移転による固定資産除却により17,502千円、不要原材料等の廃棄により48,993千円など合計147,713千円を特別損失として計上したことなどから、四半期純損失は231,428千円となりました。

#### 品目別実績

（単位：千円）

区分		平成21年12月期		平成22年12月期		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
化粧品	基礎化粧品	5,121,831	62.4	5,707,107	65.1	585,276	11.4
	メイクアップ化粧品	1,070,858	13.0	950,483	10.8	△120,374	△11.2
	トイレタリー	363,327	4.4	432,626	4.9	69,299	19.1
	その他（注）1	124,660	1.5	157,225	1.8	32,565	26.1
	小計	6,680,677	81.3	7,247,443	82.6	566,766	8.5
栄養補助食品・雑貨等		1,408,888	17.2	1,419,701	16.2	10,812	0.8
化粧品・栄養補助食品等 小計		8,089,566	98.5	8,667,144	98.8	577,578	7.1
その他（注）2		121,315	1.5	106,208	1.2	△15,106	△12.5
合計		8,210,881	100.0	8,773,353	100.0	562,472	6.9

（注）1. 期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。

2. ハーバーガーデン（ゴルフ練習場、カルチャーセンター等）等の売上が主なものです。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

#### 販売ルート別実績

（単位：千円）

区分		平成21年12月期		平成22年12月期		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
販売ルート	通信販売	5,817,507	71.9	6,167,569	71.2	350,062	6.0
	百貨店向卸売	940,681	11.6	977,137	11.3	36,456	3.9
	その他卸売	652,531	8.1	878,253	10.1	225,722	34.6
	直営店	678,845	8.4	644,182	7.4	△34,662	△5.1
	合計	8,089,566	100.0	8,667,144	100.0	577,578	7.1

（注）1. 上記の合計表には、ハーバーガーデン等の売上は含まれていません。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、主に商品在庫積み増しにより12,633,753千円になり、前連結会計年度末と比較して279,245千円の増加となりました。また、負債合計は、未払金の増加等により7,602,669千円となり、前連結会計年度末と比較して599,376千円の増加となりました。純資産は四半期純損失等により5,031,083千円となり、前連結会計年度末と比較して320,130千円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、119,149千円となりました。これは主に、減価償却費311,225千円、広告宣伝活動の積極化による未払債務の増加329,173千円及び仕入れ債務の増加163,945千円による資金の増加と、棚卸資産の増加260,993千円と法人税等の支払額372,693千円等の資金の減少によるものです。前年同期に比べ235,326千円増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、337,605千円となりました。これは主に、本社建物の建設等による支出308,222千円によるものです。前年同期は、本社建設用地や子会社株式の取得等により、1,376,225千円を支出しており、前年同期に比べ1,038,620千円支出が減少しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、198,872千円となりました。これは主に、長期借入金の純増加171,124千円と短期借入金の純減少290,000千円によるものです。前年同期は、投資活動資金を中心に1,172,290千円を調達しており、前年同期に比べ1,371,163千円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、以下の理由により平成22年5月12日に公表いたしました業績予想を据え置きました。

売上面では、次の点などから今後の売上増が期待できること。

- ①主力の通販を中心に、「リフトアップセラム無料モニターキャンペーン」で見込み客が順調に獲得できていること
- ②新規客の増加が見込まれること
- ③国内の卸及び海外輸出の増加が見込まれること

利益面は、下記の通り、今後改善していく見通しであること。

- ①売上増加による利益増加が見込まれること
- ②売上原価率の低い基礎化粧品の売上が増加していること

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が第2四半期連結会計期間末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

#### ②固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却費の算出は、年間償却予定額を期間按分して算定しています。

#### ③税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想を利用する方法によっています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

一部の連結子会社においては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、これら一部の連結子会社の法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含まれています。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ3,092千円減少し、税金等調整前四半期純損失は52,955千円増加しています。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は69,759千円です。

(表示方法の変更)

四半期連結損益計算書

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しています。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,226,376	3,654,994
受取手形及び売掛金	1,067,752	1,056,273
商品及び製品	1,080,177	889,304
仕掛品	91,014	76,937
原材料及び貯蔵品	594,354	538,310
繰延税金資産	528,884	206,142
その他	209,982	123,855
貸倒引当金	△28,575	△29,319
流動資産合計	6,769,967	6,516,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,350,180	3,281,313
減価償却累計額	△1,389,842	△1,213,118
建物及び構築物（純額）	1,960,337	2,068,195
機械装置及び運搬具	969,794	949,536
減価償却累計額	△761,485	△703,587
機械装置及び運搬具（純額）	208,309	245,948
工具、器具及び備品	583,849	590,964
減価償却累計額	△462,497	△462,615
工具、器具及び備品（純額）	121,352	128,349
土地	2,496,497	2,496,497
建設仮勘定	235,132	17,740
有形固定資産合計	5,021,629	4,956,732
無形固定資産		
のれん	228,566	284,442
その他	82,535	77,595
無形固定資産合計	311,102	362,037
投資その他の資産		
繰延税金資産	75,229	61,279
その他	455,825	473,008
貸倒引当金	—	△15,050
投資その他の資産合計	531,054	519,237
固定資産合計	5,863,786	5,838,008
資産合計	12,633,753	12,354,507

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	486,702	322,762
短期借入金	2,343,354	2,633,354
1年内返済予定の長期借入金	565,006	558,196
未払金	782,948	456,817
未払法人税等	366,871	186,190
賞与引当金	37,926	84,733
ポイント引当金	136,415	99,705
その他	176,552	156,416
流動負債合計	4,895,777	4,498,176
固定負債		
長期借入金	2,445,579	2,281,265
退職給付引当金	72,489	77,754
役員退職慰労引当金	127,187	122,450
その他	61,636	23,646
固定負債合計	2,706,892	2,505,116
負債合計	7,602,669	7,003,293
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	3,504,413	3,814,521
自己株式	△803	△400
株主資本合計	5,012,629	5,323,141
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,054	△2,317
評価・換算差額等合計	△3,054	△2,317
少数株主持分	21,508	30,391
純資産合計	5,031,083	5,351,214
負債純資産合計	12,633,753	12,354,507



(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	8,210,881	8,773,353
売上原価	1,606,945	1,614,997
売上総利益	6,603,936	7,158,356
販売費及び一般管理費	6,185,137	7,065,794
営業利益	418,799	92,561
営業外収益		
受取利息	1,119	1,112
受取配当金	386	347
受取賃貸料	31,021	30,816
保険解約返戻金	26,908	7,549
その他	10,171	8,343
営業外収益合計	69,607	48,169
営業外費用		
支払利息	62,316	58,817
その他	17,657	19,731
営業外費用合計	79,974	78,548
経常利益	408,432	62,182
特別利益		
固定資産売却益	9,979	325
移転補償金	—	14,500
受取補償金	—	10,000
その他	—	2,106
特別利益合計	9,979	26,931
特別損失		
固定資産除却損	41,852	17,502
たな卸資産廃棄損	3,737	48,993
リース解約損	6,387	—
役員退職慰労金	180,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	49,863
固定資産臨時償却費	—	29,202
その他	11,346	2,151
特別損失合計	243,324	147,713
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	175,087	△58,598
法人税、住民税及び事業税	332,587	503,672
法人税等調整額	△94,586	△321,902
法人税等合計	238,000	181,770
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△240,369
少数株主損失(△)	△33,445	△8,941
四半期純損失(△)	△29,467	△231,428

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	3,041,931	3,285,870
売上原価	559,356	597,877
売上総利益	2,482,574	2,687,993
販売費及び一般管理費	2,115,524	2,429,072
営業利益	367,050	258,920
営業外収益		
受取利息	310	337
受取配当金	187	140
受取賃貸料	10,252	10,049
その他	5,104	2,962
営業外収益合計	15,855	13,490
営業外費用		
支払利息	21,957	18,432
その他	8,894	7,107
営業外費用合計	30,852	25,540
経常利益	352,053	246,871
特別利益		
固定資産売却益	265	122
受取補償金	—	10,000
特別利益合計	265	10,122
特別損失		
固定資産除却損	31,479	8,632
たな卸資産廃棄損	—	44,914
特別損失合計	31,479	53,547
税金等調整前四半期純利益	320,840	203,446
法人税、住民税及び事業税	199,639	312,128
法人税等調整額	△43,557	△153,328
法人税等合計	156,082	158,799
少数株主損益調整前四半期純利益	—	44,646
少数株主利益	8,308	859
四半期純利益	156,449	43,787

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	175,087	△58,598
減価償却費	332,742	311,225
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	49,863
引当金の増減額(△は減少)	△53,488	△11,368
受取利息及び受取配当金	△1,506	△1,459
支払利息	62,316	58,817
固定資産売却損益(△は益)	△9,979	△325
固定資産除却損	41,852	17,502
保険解約損益(△は益)	△26,908	△7,549
移転補償金	—	△14,500
受取補償金	—	△10,000
役員退職慰労金	180,000	—
固定資産臨時償却費	—	29,202
売上債権の増減額(△は増加)	79,600	△10,876
たな卸資産の増減額(△は増加)	△220,201	△260,993
仕入債務の増減額(△は減少)	135,886	163,945
未払債務の増減額(△は減少)	△6,868	329,173
未払又は未収消費税等の増減額	△24,098	△82,434
その他	39,061	17,043
小計	703,496	518,667
利息及び配当金の受取額	1,411	1,352
移転補償金の受取額	—	14,500
役員退職慰労金の支払額	△227,720	—
利息の支払額	△63,784	△53,737
法人税等の支払額	△529,579	△372,673
法人税等の還付額	—	11,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	△116,177	119,149
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△138,600	11,394
子会社株式の取得による支出	△357,009	△650
有形固定資産の取得による支出	△848,062	△308,222
無形固定資産の取得による支出	△6,622	△28,999
固定資産の売却による収入	10,458	400
長期前払費用の取得による支出	△4,081	△16,950
差入保証金の差入による支出	△40,056	△22,857
差入保証金の回収による収入	3,620	10,770
保険積立金の解約による収入	—	16,903
その他	4,127	606
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,376,225	△337,605

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	940,000	△290,000
長期借入れによる収入	845,000	760,000
長期借入金の返済による支出	△532,392	△588,876
割賦債務の返済による支出	△1,902	△1,219
配当金の支払額	△78,415	△78,373
自己株式の取得による支出	—	△403
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,172,290	△198,872
現金及び現金同等物に係る換算差額	325	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△319,786	△417,329
現金及び現金同等物の期首残高	3,389,100	3,439,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,069,313	3,021,994

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。